



国土交通省
信濃川河川事務所

記者発表資料

平成22年4月12日

大河津分水殉職者の慰霊祭を挙ります。

第75回大河津分水殉職者慰霊祭を、次のとおり行いますのでお知らせします。

日時	平成22年4月16日(金) 10時00分～11時00分
場所	燕市大川津 (信濃川河川事務所 大河津出張所 構内)
主催	北陸地方整備局 信濃川河川事務所 大河津出張所
式次第	別紙のとおり
出席者	別紙のとおり

【参 考】

○大河津分水の概要

越後平野は、信濃川等が運び出した土砂によって形成された沖積平野であり、大河津分水路ができるまでは、3年に1度は洪水被害の発生する水害常襲地帯でした。

大河津分水は、江戸時代からの悲願が実って、明治42年に着工し、大正11年に通水しましたが、昭和2年自在堰の陥没によりその機能を失ったため、突貫工事により復旧され、昭和6年に完工しました。

通水以来大河津分水は、90年近くにわたって越後平野を洪水氾濫から守り続け、地域の発展を支えてきたもので、越後平野の社会活動の維持・発展のためには最も重要な施設です。

○大河津分水殉職者慰霊祭について

慰霊祭は、分水工事15ヶ年間(M42～T12)における殉職者のため、渡辺丈二・田沢実入・石原三保吉等(有志・在官者等)が発起人になって寄付金を募り、大正12年10月に、西蒲原郡国上村字石湊地先(現燕市渡部地先)の大河津分水路河畔(タぐれの岡)に慰霊碑を建て、招魂祭を執行し、遺族を弔慰したのが始まりです。(当時、殉職者84名の氏名を石碑「大河津分水工事殉職者之碑」に刻印)

翌大正13年10月には、第1回目の慰霊祭を挙行し、以来2～3年毎に秋に実施していましたが、昭和11年5月には分水第二公園へ遷座し、その後は毎年桜の咲く時期に実施(戦時中及び終戦直後一時中断)しています。

現在は、その後施工された信濃川補修工事、及び大河津分水完工後、維持管理等を行う上で殉職された16名(昭和40年度が最終)を含め、100名の氏名が石碑に刻印されています。

取り扱い:本資料の発表をもって解禁とする。

記者発表クラブ

長岡市政記者会

問い合わせ先

北陸地方整備局信濃川河川事務所
大河津出張所 出張所長 大滝 嘉孝
電話) 0256-97-2121

慰靈祭 式次第

1. 開式の辞
1. 黙 禱
1. 主催者式辞 大河津出張所長
1. 挨拶 北陸地方整備局長
1. 挨拶 信濃川河川事務所長
1. 来賓挨拶 大河津分水改修促進期成同盟会長 新潟市長
1. 来賓挨拶 信濃川・中ノ口川治水事業促進期成同盟会長 三条市長
1. 来賓挨拶 燕市長
1. 献 花 参列者全員
1. 閉式の辞

慰靈祭 出席者(予定)

燕 市 市 長
議会議長
長岡市 市 長
議会議長

燕警察署長
長岡地域振興局長
三条地域振興局長

大河津分水改修促進期成同盟会長
(新潟市長)
信濃川・中ノ口川治水事業促進期成同盟会長
(三条市長)

北陸地方整備局長
北陸地方整備局河川部長
信濃川下流河川事務所長
信濃川河川事務所長
大河津資料館館長

白根郷土地改良区理事長
亀田郷土地改良区理事長
新津郷土地改良区理事長
西蒲原土地改良区理事長
燕市大川津区長
燕市五千石区長

他大河津分水関係者

大河津分水殉職者慰霊祭 平成21年度の開催状況 (H21.4.17)



慰霊碑（大河津分水工事慰霊之碑）



挨拶（北陸地方整備局長）



来賓挨拶（燕市長）



献花（河川部長）